

科目名	社会・集団・家族心理学		担当教員	吉田 俊和	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2SPS111
期待される学修成果	基礎教養 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	社会心理学は、人が他者や集団・社会と適切に関わるための知見を提供する学問である。こうした知見を、実際に体験しながら学ぶことは、初学者にとっては理解しやすく、現実の社会でも、授業で得た知見を役立たせることを到達目標とする。また、家族について広く基礎的な知識を持ち、家族の問題を多角的に分析することができることも到達目標とする。				
授業の概要	自己の内的世界で起きる認知や思考の様式、他者とのコミュニケーションによる態度の変容、他者に対する好意の源泉、他者が存在することによるパフォーマンスへの影響、集団のダイナミックス、多様な家族の形とそのリスク要因等について学ぶ。				

授業計画	
第1回	自己過程－自己の開示と呈示－
第2回	社会的態度の形成と態度の3成分
第3回	コミュニケーションと態度変容
第4回	態度変容に対する抵抗
第5回	対人魅力－近接性の影響－
第6回	対人魅力－類似性と相補性の影響－
第7回	対人関係の進展と魅力
第8回	対人魅力－愛の錯誤帰属－
第9回	他者の存在の影響－社会的促進－
第10回	他者の存在の影響－社会的手抜き－
第11回	他者の存在の影響－緊急時の援助行動－
第12回	集団のダイナミックス－情報的影響と規範的影響－
第13回	集団のダイナミックス－意思決定のプロセス－
第14回	家族システム：システムとしての家族の見方
第15回	家族システム：個人の問題行動と家族システム

事前学修	2時間	テキスト（教科書）の該当する章について、事前に読んでおくこと。
事後学修	2時間	毎時の授業内容を復習し、テキスト（教科書）を再読すること。
フィードバックの方法	定期試験のフィードバックは、研究室前に掲示しますので、質問があれば対応します。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	80%	授業内容の理解度
レポート	20%	レポート作成の成果
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
体験で学ぶ社会心理学	吉田俊和・元吉忠寛（編）	ナカニシヤ出版	978-4-7795-0462-4	なし
参考資料				

科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	社会・集団・家族心理学
時間割	毎週金曜日 1時限目 9時00分開始 10時30分終了
初回の授業日	9月24日(金)
講義室	羽島キャンパス 教室未定
注意事項	自家用車による通学可。事前にメールでご相談ください。駐車場許可証を発行いたします。 授業が始まったら、休講などの連絡は学内の掲示板または休講通知メールシステムを使います。
授業についての 問合せ	羽島教務課 (058-279-3493) (月～金曜日 8時50分～17時30分、土曜日 8時50分～12時40分 (学休日除く))

地図



岐阜バス
岐阜駅から「岐阜聖徳学園大学」行乗車。終点下車。

交通アクセス